



わたしたちの 日本一 美しい村

2022

広報

しらかわ

7 月号
No.612



CONTENTS

- ~コロナに負けるな!!~
「第2弾 白川村を元気にする商品券」を販売します…………… 2
- 南部地域活性化企業連携事業
夏のヘリクルージングのお知らせ…………… 4
- NBKへようこそ!…………… 6
- 後期高齢者医療制度についてお知らせ…………… 8

6月12日(日)、約3年ぶりの開催となる「第51回 白川村消防操法大会」が行われました。選手の皆さんは日頃の練習の成果を發揮し、消防技術を競い合いました。詳しくは3ページをご覧ください。また、同日発行の議会だより表紙において今年の「消防感謝祭 第71回岐阜県消防操法大会」へ本村を代表して出場する大郷分団も紹介しております。併せてご覧ください。

コロナに負けるな!!

「第2弾 白川村を元気にする商品券」を販売します

1冊、5千円で買って
1万円分使える
超プレミアム商品券です

販売開始 7/19～
村民1人3冊まで



白川村地域商品券実行委員会では、コロナ禍における原油価格や物価高騰に直面している村民の生活支援と産業支援を目的に、お得な商品券を販売します。

村民を対象に販売しますので、この機会にお得な商品券をお買い求めいただきぜひご利用ください。

1. 対象者

- 令和4年7月19日現在、白川村に住民票がある方

2. 商品券の内容

- 販売価格：**1冊5,000円で販売します。**
- 1冊あたり1万円分の商品券です（1,000円券×10枚）
- 販売上限：村民1人あたり3冊まで
- 商品券の使用はお釣りが出ません。

取扱加盟店ご希望の方へ

商品券「取扱加盟店」になるためには、手続きが必要です。また、換金方法は別途ご案内します。詳しくは、事務局（商工会）までご相談ください。

3. 販売期間と販売場所

- 販売期間：令和4年7月19日（火）～10月28日（金）
- 販売場所：御母衣郵便局・鳩谷郵便局（上記期間内の平日9時～17時）
※鳩谷郵便局に駐車できない場合は、役場前の駐車場をご利用いただきお買い求めください。
また、コロナ感染症予防対策のため、局内が混雑する場合は建物外でお待ちいただく場合がございますのでご協力をお願いいたします。

4. 利用期間

- 令和4年7月19日（火）～12月31日（土）
※利用できる店舗には、「取扱加盟店ポスター」が掲示されます。

5. 購入方法

- 7月中旬に配布します「**第2弾 白川村を元気にする商品券 購入申込書**」と代金を販売場所へ持参しお買い求めいただきますようお願いいたします。
※購入申込書は1人に対して3枚交付されます。（申込書1枚で商品券1冊 購入可）

【問合せ先】白川村地域商品券実行委員会事務局
白川村商工会 ☎6-1708
白川村役場観光振興課 ☎6-1311

第51回 白川村消防操法大会



6月12日(日)、白川村消防操法大会が、村防災グラウンド(寺尾)で開催されました。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となり、村議会議員など最小限の来賓で行われました。

この大会は、消防団員の消防技術向上と迅速で適切な消防活動の習得を目的とし、ポンプ車の部で3チーム、小型ポンプの部で4チームが出場し、消防技術を競い合いました。

選手の皆さんは約4週間の操法訓練を行い、その成果を発揮していただきました。



ポンプ車の部

優勝 中部分団第1班
 指揮者 坂井 勇介
 1番員 松古 知之
 2番員 藤坂 周磨
 3番員 三島 秀紀
 4番員 半田 旭
 補助員 大谷 直之



小型ポンプの部

優勝 中部分団第6班
 指揮者 谷藤 一成
 1番員 山下羅生城
 2番員 佐藤 猛
 3番員 伊藤 浩明
 補助員 武田 洋



番員賞

ポンプ車の部
 指揮者 田中 克弥
 1番員 渡邊 啓太
 2番員 藤坂 周磨
 3番員 三島 秀紀
 4番員 半田 旭



小型ポンプの部
 指揮者 谷藤 一成
 1番員 枘田 将也
 2番員 佐藤 猛
 3番員 伊藤 浩明

県大会に向け意気込みを見せる

出場チームの操法審査終了後、8月7日(日)に山県市で開催される「消防感謝祭 第71回岐阜県消防操法大会」の「小型ポンプの部」に出場する白川村消防団(大郷分団)の操法が披露されました。白川村の代表として長期の訓練ですが頑張ってください。

指揮者 白木 光成
 1番員 山腰 郁
 2番員 高森 純豊
 3番員 中谷 大地
 補助員 小関 弘翔



シェアハウスで村の暮らしを体験

白川村移住交流窓口で管理している、暮らし体験住宅「シェアハウスやまごや以上ほしぞら未満」に新しい入居者が来てくださいました。入居期間は4月末から1ヶ月間と短かったですが、感想をいただきましたので紹介します。

●小芝日出子さん(60代女性)「平瀬のシェアハウスに滞在し、1ヶ月間村の生活を体験」

自然豊かな場所への移住を検討。試しに1年くらい住んでみたかったのですが、家庭の事情で1ヶ月の利用となりました。スーパーカーは品揃えが豊富で買い物には困りませんでした。大きな医療機関が近くにないので、実際に住むのは難しいと感じました。しかし、それ以上に素晴らしいこともたくさんあり、シェアハウスから見える日々表情を変える山々にはとても癒されました。また、NBK(南部地区文化会館)の図書館や地域の方から本を借りては、シェアハウスやキャンプ場等で読書をしていましたが、こんなに雑音がない静かな場所は地元にはないので、とても集中できて良い時間でした。村に関する本にも出会い、地域のことをたくさん知ることができたこともよかったです。地元でも日頃からボランティアに参加する等、活動的に暮らしていたので、もっと地域の方と交流したり、地域活動に参加したりしたかったのですが、今回はコロナ禍もあり残念でした。また違う季節の村のことも知りたいと思いました。白川村の皆様、お世話になりありがとうございました。



NBK図書館で本を探す小芝さん

シェアハウスの雪囲いはずしや、村内一斉美化運動にも自ら関わりたいとって参加して下さった小芝さん。シェアハウスは20代から30代の方の利用が多く、小芝さんの年代の方は珍しかったのですが、近所の方とも良い関係をきづいて下さったようで、年齢や性別に関係なく積極的に人と関わることの大切さに改めて気づかされました。今回、小芝さんが感じられた村の魅力はもちろんですが、不安に感じられたことも移住希望者には偽りなくお伝えしていきたいなと思います。村の暮らしを知るためには、村民との交流や地域活動への参画が必要です。今後、体験住宅利用者の方が、地域の活動にお邪魔させていただくこともあるかと思っておりますので、その際はどうぞ宜しくお願いいたします。

【問合せ先】白川村移住交流窓口 ☎福田麻衣子：090-8138-8665 ☎柴原 孝治：080-5591-7114
E-mail : shirakawa-go-iju@vill.shirakawa.lg.jp

南部地域活性化企業連携事業

夏のヘリクルージングのお知らせ

【日程】2022年8月11日(木・祝)～8月14日(日)

【時間】9:00～16:00(15:30受付終了)

【ヘリ離発着場】旧白弓スキー場

【遊覧コース案内】6分 エコノミー 御母衣ダム周遊体験コース
12分 スタンダード 御母衣ダム・白水の滝絶景コース

【チャーター】例) 24分 スペシャル 白山周遊特別コース

今年「二十歳を祝う会」の対象となる方限定特別企画を行います！

8月11日～14日(4日間)今年「二十歳を祝う会」の対象となる方限定で通常料金の50%割引をさせていただきます！

※今年度より成人式が二十歳を祝う会と名称変更されます。

【例①対象者2名で搭乗 12分コース(2名様50%OFF)】

人数	コース	村民特別料金(税込)
2名様	12分	-50,000円 → 25,000円(1名様当り12,500円)

【例②対象者1名、両親2名で搭乗 6分コース(1名50%OFF、2名村民割引20%OFF)】

人数	コース	村民特別料金(税込)
3名様	6分	-33,000円 → 23,100円(今年成人者5,500円+両親17,600円)

白川村民の皆様は通常料金の**20%OFF**で体験して頂けます。

料金	人数	コース	村民特別料金(税込)
2名様		6分	-26,000円 → 20,800円(1名様当り10,400円)
		12分	-50,000円 → 40,000円(1名様当り20,000円)
3名様		6分	-33,000円 → 26,400円(1名様当り8,800円)
		12分	-60,000円 → 48,000円(1名様当り16,000円)

【チャーター】 1～3名様 例) 24分 100,000円 → 80,000円



※5歳以下のお子様は無料(膝抱っこされる場合、お子様の座席料金は頂けません)
※お支払方法は現金・クレジットカード・電子マネーいづれもご利用になれます。

【注意事項】

- ・予約状況によっては、ご希望の体験時間にご予約できない場合があります。
- ・悪天候の場合は中止になる場合があります。

【ご予約・お問い合わせ先】

090-6517-3304

(一般社団法人S.I.Net会)

予約フォームはこちら





- 保健師・管理栄養士さんからのお知らせ -

すこやかだより vol.124

健康診査の結果説明会について

7月4日(月)～7日(木)に実施した住民健康診査の結果説明会を行います。結果を返却した後、診療所医師、保健師、管理栄養士から、結果の数値の見方や今後の生活で気をつけること等をお伝えします。

対象者：今年度の健康診査受診者

※がん検診のみ受診された方は、対象外になります。

日にち	場所	時間
8月8日(月)	南部地区文化会館	受付19:00～ (1時間程度)
8月10日(水)	総合交流文化施設(視聴覚室)	

- ・結果説明会に参加いただき、結果を受け取ってください。都合により、説明会に参加できなかった方の結果は、後日郵送致します。
- ・世帯分まとめてお渡しすることも可能です。
- ・診療所に通院している方は、次回診療の際に結果の説明が可能です。

[問合せ先] 村民課 ☎6-1311

胃カメラ検診の申し込みについて

〆切:7月29日(金)

場 所：久美愛厚生病院 健診センター

対象者：村の胃がん(バリウム)検診を受けていない方。年度末年齢が50～74歳までの方。

申込み：役場村民課までお申し込みください。病院と日程調整を行い、改めて日時をご連絡致します。

料 金：個人負担金700円。※久美愛厚生病院までの送迎はありませんのでご了承ください。

村民は、8月以降の(月)水(金)で1日1人のみの予約枠となっております。

熱中症と食中毒に注意!

気温の高い季節になりました。熱中症と食中毒に気を付けましょう。

◇熱中症

室内や外出先においても、こまめに水分補給をして、できるだけ涼しい環境で過ごしましょう。

◇食中毒

この時期に起こる食中毒のほとんどは細菌が原因です。

【食中毒予防三原則】

- ①清潔 (手洗い、まな板・フキン・食器等の消毒)
- ②迅速 (調理した食品はできるだけ早く食べる)
- ③加熱、冷却 (十分に火を通す、冷蔵庫に入れる)

“ママと赤ちゃんのサロン” 6～7月の予定

飛騨地域の助産師さんが育児・健康に関する相談を行います。

【対 象】

妊婦さん、入園前までのお子さんとママ
事前申し込みが必要です。前週の金曜日までにお申込みください。

【日 時】

7月27日(水)、8月31日(水)
いずれも10時～11時半

【場 所】 鳩谷体育館

【申込み】 村民課 ☎6-1311



食コラム

野菜をプラス1皿取り入れよう!

ふだん意識して野菜を食べていますか?

ふだん野菜を意識して多く食べている人の割合は、男性70.2%、女性85.1%です。年齢別にみると、男女ともに20歳代が最も低く(男性55.5%、女性73.9%)、年齢が上がるごとに高くなる傾向にあります。いずれの年齢においても、男性の方が意識している者の割合が少ないという結果です。(H28県民栄養調査)

1日の野菜目標摂取量は**350g**です!

=生野菜で両手3杯分、または茹でた野菜で片手で3杯分です。
(淡色野菜:緑黄色野菜=2:1)

おおよそ1日に必要な野菜量2人分です



8月号では、おすすめの野菜
たっぷりレシピを紹介します!

[問合せ先] 村民課 ☎6-1311



南部地区文化会館のマスコット
「エデュ子ちゃん」よろしくね!

南部地区文化会館だより

村民の力が引き出される場

NBKへようこそ!

Nanbuchiku Bunka Kaikan

「軽トラ図書カー」が保育園に来る～!

昨年度よりNBKから白川保育園に2ヶ月に1回ずつ100冊の本を運び、手軽に貸出しが出来るようにしました。今年度は更にもっと楽しく本にふれあえるよう、軽トラの荷台にたくさんの本を積み「軽トラ図書カー」と名付け、外で貸出を行う企画を考えました。お帰りの時間に合わせてお迎えに来てくれた家族と一緒に楽しそうに本を選ぶ子ども達の姿はとてニコニコ笑顔でした。バスでお帰りの南部地区の子ども達もバス停留所のNBKで本を借り、その場でお母さんに読んでもらう姿も見られました。



青空図書室開催



毎月2回、土日図書室開放日を設けています。6月4日(土)の開放日は青空図書室として外でゆったりと本を楽しんでもらいました。天候にも恵まれ、気持ちの良い青空のしたで読書を楽しむことができました。



白川郷学園

コミスクだより

「いつまでも住み続けたい村づくり」のために
学園・家庭・地域が協働で“将来の担い手”を育みます！

【問合せ先】教育委員会 ☎ 5-2180

地域と共に学び進める「ふるさと学習」



白川郷学園では、特別な教科「村民学（ふるさと学習）」を職員と地域住民が共に進めていけるよう、全学年に2名ずつの学年コーディネーターを位置づけています。4月に担当の先生とコーディネーターとの打ち合わせ会が設けられ、その後は1年間をかけて相談し合いながら学習が進められていきます。学習のねらいにあった地域人材や地域教材を探し繋いでくれる役割がコーディネーターさんのお仕事です。村の過去、現在について深く学び、更に未来に向けて考え学び進める白川郷学園のふるさと学習は価値が高く、子ども達だけではなく学習にかかわる村民にとっても良い学びの場となっています。



3年生：昔の冬の暮らしについて佐藤さん（荻町）大松さん（平瀬）からお話を聞き、冬の食材として大切に保存している乾燥わらびを見せてもらい、自然と共に生活していることを学びました。



7年生：「担い手」さんの想いについて探るために成原さん（飯島）下方さん（鳩谷）をはじめ多くの村民の方に直接お話を聞かせてもらい、自分たちの考え方などと比べ、学ぶことが出来ました。



4年生：合掌造りについて松本さん（御母衣）からお話を聞きました。大家族で生活していた旧遠山家では、大人数で寝るとどんな感じなのか実際にみんなで寝転がり体験しました。



9年生：SDGsについて山田さん（鳩谷）からお話を聞きました。世の中の様々な課題は実は繋がりが合っていて、自分たちの生活を改めて見つめることが出来ました。